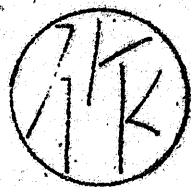


21 chg
(38 ch)

260

20
人



四 一六 受信一〇四七 譯丁一一三五 電〇八九三四 作動
緊急 開始一一三〇

上海方面特根

海上護衛艦隊口・聯合艦隊口・支那方面艦隊口

一〇二戰隊口・佐鎮・鎮守・一護衛艦隊口・崎戶
濟洲島航空隊・五七海防艦

機密第一六〇八〇〇番電

二一艦潛隊(三八艦潛隊)第三哨區ニ進出ノ崎戶海五七の山大
島ヨリ同行一二〇〇上海ニ向ケ佐世保發ノ豫定

64
57 col

通一〇一五五 天ニBケ八一五二〇〇佐通 末光(機筒)

昭和廿年四月拾七日

1031

21 chg

26/

20

四 一七
 受信一四四二二
 開始一四四五
 了 一五〇五
 電 〇九五八四
 作 動



支那方面...
 一〇二...
 支那方面...
 一〇二...

上海根

機密第一七一三〇〇香電

密隊機密第一六〇八〇〇香電關聯

二一 驅潛隊 (三八 驅潛艇) 十八日一九〇〇 瀨礁山着十九日〇五三〇發

一四〇〇 上海着 豫定

通一〇九一五
 天二 〇ケ八 (九八三〇K) 佐二放 日野原 (松山)

昭和廿年四月拾八日

21 day

262

20

四一九 受信二〇〇五
二〇 誤始二〇三〇
緊急

誤了二〇五〇 電一〇八〇七 特動

昭和四年四月廿日

傍 (報) (着)

上海根P

二一 聚濤隊

聯合艦隊P 一護衛艦隊P 崎戸

支那方面艦隊P 一三戰隊P 佐鎮

機密第一九一九三〇番電

二一聚濤隊 (三八聚濤艇) 十六日一二〇〇 佐世保發
十九日一九三〇 上海着

通一二三三五 天二日ヶ八 (七四六五Ke) 上海 品田 (細川)

1033

cd { 112
150
12

263 1/2

20 1

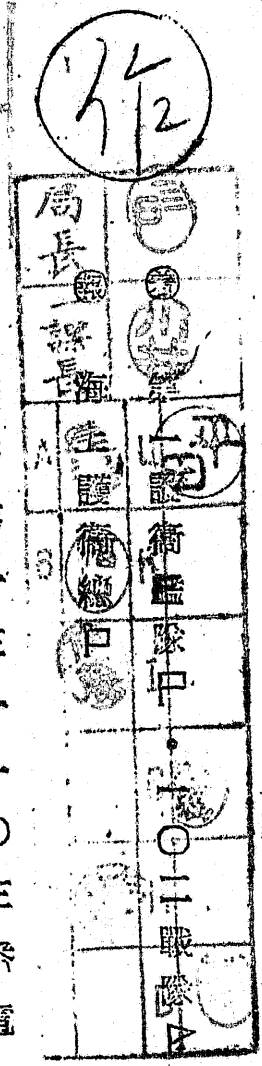
通六四一八

天二Bケ八(B)舞通

和田(阿部)

海一 一二海一五〇海一二 NAD 着
發 一二二海防艦長

機密第一三一〇三番電



四 一三 受信一八四二八 譯了一九〇〇 電〇七四八七 作 動〇

昭和廿年四月拾四日

1034

264

20

四一四 受信一八〇〇

電〇七九六二 整

昭和十年四月拾六日 備

大 臣

藏 裝 委 員 長



第一五八號海防 十三日一〇〇〇受領セリ

通九一一四 發信局 播磨造船 (小林)

265

20

至急

四一四 受信一六四三八 譯了一六四五 電〇七九〇〇三四 作動〇

昭和廿年四月拾五日

① 一〇根V・聯合艦隊口・二艦隊口
② 九三六空・初鷹・四四掃下・一一根V

機密第一四一〇三四三番電 二分ノ一二

發 第二利丸艇長

一、第二小隊行動線左ノ通

十四日一五〇〇發 十六日一〇三〇フウコツク島着「一〇四五」

（北上丸天長丸）ト合同「二〇〇」發 二十日二一〇〇昭爾海峽東

口假泊 二十一日一四〇〇昭爾海峽ノ線定

速力八節正午位置（十七日以線）

北緯九度二五分 東經一〇一度四〇分

北緯七度一二分 東經一〇〇度四四分

通 八九一三四 天二五々六（一八四一〇）十通 返送（取出）

北緯五度二三分 東經一〇三度一分
北緯二度三〇分 東經一〇三度五二分
二十四日一四〇〇西貢通信系ヲ去リ一〇通信系ニ入ル。

266

對潛訓練隊

四一四

受領 〇〇二五〇〇

譯丁 〇五二〇

號 〇七六五

統作 育政 〇

至 卷

共

符

作

海上護衛總口・吳鎮・吳防戰

教育局・門司在勤武官・下關防備隊

機密第一三〇九三〇番

對潛訓練隊司令

對潛訓練隊 (黃金丸志賀金輪神津四八號一九二號一九四號一九六號

一九八號七七號海防艦) 舞鶴着 一四號海防艦 八門司ニテ修理セシ

△

通八六五五 口一Bケ七 (B) 舞鶴 採本 (鈴三)

昭和廿年四月拾日

267

昭和三年四月



大臣 吳鎮

電〇八五〇〇 整備
軍監督官

機密電話第一五五二番電

光 藤永田造船社長

四月十五日 〇八三〇 第二七二九号 艦ノ進水ヲ入。

通九七三七

鐵板(泰山)

昭和三年四月廿六日

268

20

人

作

四一五 愛信一〇九五六 譯了 一〇三五 電〇八二五九 作 動

大 長 臣 吳 鎮 佐 鎮

機密第一五〇八三〇番電

共 符

門司着 筑紫丸艦長

通九三九二 天二B分八 (B) 長通 和田 (細川)

昭和廿年四月拾六日

四 一五 愛国 〇一三七 了 〇三五五 電 〇八一三二 英作 〇
 海防 〇二一〇



第一海防隊 (▲) 作製) ・第三海防隊 (▲) 作製) ・一〇四海防隊
 海防隊空母艦
 海上要港艦隊・一陸海軍艦隊・佐 編

海防第一四二一二二番電

三井丸、乗組、海一〇四、三井丸艦長指揮ノ下ニ掃蕩敵艦ニ任ジ
 後遺艦者收容門閉ニ同航スベシ
 三副船ノ各段ハ各階或部隊指揮官ノ定ムル所ニ依リ掃蕩敵艦ニ協力
 シテ後遺艦宜原隊ニ復歸スベシ

海九二八五

天二二ケ六 () 佐世保

久保田 (金) 軍

昭和十一年四月十日
 第十一編

270

20

至急

四一五 受信二二〇四四 譯始二二五〇 譯了二三三五 電〇八六六八 作 區

共符

作

六五海防艦(吳通信隊)・AS三部隊・二〇五海防艦・驅潛隊六〇
竹生處理通信隊・阪警部隊
海上護衛總口・佐鎮・鎮海警・一〇三戰隊▽・五五一航空隊▽・青根▽

機密第一五一七三九番電

一四四電令作第四〇號

左ノ通東海哨戒部隊ニ編入

(イ)十七日第二哨戒部隊ニ海六五海一〇五

(ロ)十七日第三哨戒部隊ニ海二驅潛艇六〇

(ニ)二十一日第三哨戒部隊ニ竹生

東通註 本電(イ)(ロ)ノ誤ナルカ又(イ)(ロ)ノ脱ト認メラル

通九八一八 天二Bケ八(B) 吳通 未松(小松)

昭和四年四月廿六日

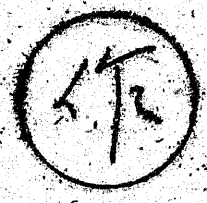
昭和元年四月廿六日

20 四一五

受傳二三三五九 譯了二三三九九 夏〇八六八八 作 概〇

緊急

二二海防隊



第二號海防艦・海防艦三四・海防艦四一

海上護衛隊中・第一護衛隊中・九〇一空ヲ・上海特根下
第一、第二、第三各哨戒部隊(▲作戦)

機密第一五一六二四番號

第三哨戒部隊電令作第二六四號

一海二海三四艦代ハ第一海上護衛艦隊電令作第三四號ノ任務終了後酒
樽山ニテ待機セヨ

三艦代發十八日一二〇〇DE哨高ニテ海四一ニ合同スルガ如ク行動セヨ

通九八八〇 天二Bケ八(B)吳

佐藤(猪)持)

272

20

緊急

作

四 一六 受信 一〇三〇〇 譯了 一一一七 電 〇九〇四八 作概 〇

● 機雷部隊

● 海護總口・一護衛艦隊口・舞鎮

機密第一六〇八一五番電

● 佐 鎮

佐鎮機密第一五一五一一番電ヲ取消ス敷設終了セバ佐世保ニ回航
セヨ修理ニ關シ手配濟

通一〇一三八 天二日分八(九八三〇KG)佐二放遠藤(細川)

昭和廿年四月拾七日

26 ed (行) 273

20
77

人

(行)

至
急

四
一六

受信一六二二
開始一八三四

譯了一八三九 電〇九一一一 作動〇

● 一護衛艦隊長
● 海上護衛總口・海南警・九〇一空(上海空、戊、三亞各空基地)

	隊長	(丸)
	課長	(丸)
A	(丸)	(平)
B	(丸)	(勇)
E		I
J	(丸)	(共)
Q	(丸)	H
	(丸)	(符)

機密第一六一〇一五番電

發 二六海防艦長

一〇〇〇香港着(九〇一空便乘者六三名)。

通一〇三九〇 天二Bケ八(一三五二〇KG)高雄 高橋(秋葉)

昭和廿年四月拾七日

18 S 274

20

ト

行動要旨

四 一六 受信一七二〇譯了一八三一 電〇九二六七 作 動〇
緊急

無線艦所用共通符號

● 佐 鎮。鎮 營

● 海上警備總口。永城丸(吳道)。機雷部隊(佐)

機雷第一六一四三〇番電

發 一八機隊司令官

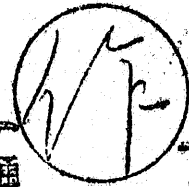
管隊機雷第一六〇七四〇番電ニ依ル行動ヲ取止メ佐世謀ニ直航ス。

通一〇三八三 天一自ヶ六(九八三〇)佐世謀 坂本 (太刀岡)

昭和十一年四月

275

70



四
一七六 受信 〇七三五
譯了 〇九〇〇 電 〇九五二二 作動 〇

權須賀 權須賀

東通。木更津空。八丈島警備隊。館山空
權防戰

機密第一六一六〇六番電

發宛 父根司令官 權須賀運輸部長

通報 第二空廠總務部長 九〇三空司令官 權須賀防備戰隊司令官

八丈島警備隊司令 海上護衛參謀長 權廠總務部長

權須賀施設部長

一、夕第十三號艇一二〇〇發北之島ノ西五週ヨリ榎木原經一匹二度編及

青島ノ八八度一一四週ヨリ館山ニ向フ十八日正午頃館山着ノ豫定

三便乗者二空廠工員七七名構施工員一名搭載物件九號輸送艦送渡者

手廻品全部書類其ノ他。

通一〇五五四 另一日分七 (木空基地 伊藤(五島))

昭和廿年四月廿八日

276

20

至急

四 一七 受信 一三五〇二 譯了 一四一〇 電 〇九五六三 作動 〇

昭和廿年 四月拾八日



南三陸部隊

東京灣北航路部隊

東京通信隊・大湊通信隊・宗谷
横通・三三號掃海艇

機密第一七〇九三〇番電

通報 茂參謀長 海陵參謀長 大海 大警參謀長 東京灣部隊指

揮官

宗谷ノ横須賀發ハ一日延期セシメラル。

通一〇八九二 天二Bケ八(一六四〇KG)横通 坂本(細川)

277

四 一七 受信一六三九 譯始一七三一 譯了一八〇〇 電〇九六六三 作 動

至 急

八丈島陸上防備部隊

横須賀通信隊

東京通信隊・横銀對潛航空部隊

機密 一七一五〇一番電

發 第二輸送隊

宛 横銀口

通報 大海參一部長 聯合艦隊司令長官 GEB口 横須賀海軍運輸部長

東京灣北航路部隊指揮官 東京灣部隊指揮官

第一八四號輸送艦行動豫定十八日午後横須賀發館山假泊十九日〇四

〇〇館山發列島線南下一二〇〇、八丈島着ノ豫定。

通一〇九九三 天二Bケ八(一六四〇KG) 横通

内田(塩田)

昭和廿年四月廿八日

116 ad 278

20 人

四一七
緊急

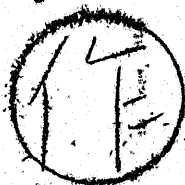
受信一七四四
開始一八一〇

了了一八三五

電〇九六八八

作動

昭和廿年四月拾八日



舞

鎮

共

符



海護總口。一護衛艦隊口

機密第一七一六〇五番電

發 下六海防艦長

二十八日〇八〇〇門司發一一〇〇油谷灣着後港口ニ於テ海一五六ニ合

同濱田港灣ニ假泊二十日一六〇〇舞鶴着ノ豫定

二十八日〇八〇〇通信系ヲ去リ舞鶴通信系ニ入ル。

通一一〇一六

天二日ケ八（B）吳通

伊藤（松山）

47
49

279

20

四一七
緊急

開始二〇〇〇

丁二〇四五

電〇九七六七

作

昭和廿年四月廿五日

房

大

四七、四九各海防艦

機密第一七一六一六番

發 橫須賀鎮守府參謀長

通報

東部

除司令官

橫須賀海軍運輸部

第三三號掃海艇

第四七號第四九號海防艦大濤回航ノ途次宗谷ノ護衛ニ協力セシメ

庶

通一一〇四〇 天二二八八(一六四〇K)機 通 川本(五島)

280

至急

四 一七 受信二〇四五 譯了〇九三〇 電〇九九九一九 作 概〇
一八 譯始〇三〇〇

二二海防隊

昭和四年四月九日

第三哨戒部隊 (AS 作戦)

海護總司令部 第一哨戒部隊 (鎮守・佐鎮・竹生・二〇五海防艦・一〇三戰隊)
上根 (九〇一空) 一護衛艦隊 (第二哨戒部隊)

機密第一七一四二一番電 二分フ、二

第三哨戒部隊電令第二〇四號

丁哨戒區分 (北哨區期間待機毎日) ツ島海五五 (P) G H 十八日二十一日 (所安港)

所安港 (P) G H 二十七日三十日 (宇久海八一 (P) B O 十八日二十日 (所安港)

南島海五二 (P) G H 二十四日二十七日 (所安港) 屋代海五八 (E) A M 柳崎八

月 (P) B O 二十七日三十日三宅 (H) I 二十四日二十七日 (所安港) 海二〇七

海六三 (所安港) (P) G H 二十一日二十四日 (D) E 二十四日二十七日 (酒礁

山) 崎戸海五七 (酒礁山) (B) O 二十一日二十七日 (D) E 二十七日三十日竹

生海二〇〇五 (所安港) (H) I 二十七日三十日 (佐二放

通海二〇〇八二 (天) B I 八 (四九一五) (久保田、野木 (渡) 邊)

28/

20

L

作

至 盤

四 一七 受信 二一九三〇〇

譯了 二三四〇

電自 〇九七四六

戰航作 概 力本〇

漢 空 航 空 基 地

● 南東方面艦隊P・八幡艦隊P・四艦隊P・厚木航空基地

● 東通・横濱・聯合艦隊P・父島方面根P

機密第一六一六二四番電 三分ノ二二三

發 一〇八一 空横濱派遣隊長

左ニ依リ一UFB信令作第六五號(GF電令作第五六九號關聯)

NBB・PT RXP間艇進給送ヲ實施使用機ハ機送機三機トス

行動第一便二十二日一七〇〇NBB發二十三日〇五〇〇PT假泊地

二十四日一七〇〇PT發二十五日〇五〇〇NBB着

第二便二十二日一七〇〇NBB發二十三日〇五〇〇PT着二十四日〇

通通通 第一便 〇一〇五五五 〇六二五五五 〇五五五五五 〇四一五五五 〇三〇五五五 〇一九五五五 〇〇八五五五

通通通 〇一〇五五五 〇六二五五五 〇五五五五五 〇四一五五五 〇三〇五五五 〇一九五五五 〇〇八五五五

昭和廿四年四月拾八日

一五〇〇PT發二二〇〇RXP着二十五日〇一〇〇RXP發〇八
 〇〇PT着二十六日一七〇〇PT發二十七日〇五〇〇NB着
 第三便二十三日一七〇〇NB發二十四日〇五〇〇PT着二十五
 日一七〇〇PT發二十六日〇五〇〇NB着

通 價

周波數五^三四五KC暗號書NB・PT間多七九 PT RXP間
 多四三呼出符號第一便〇ニアア 第二便〇七オク 第三便〇〇ミ
 ク PT ソコキ四 RXPサイル一 出發日一八〇〇ヨリ實施
 サレ度

282

四 一七
重 急

受信 二二二〇〇
開始 二二〇〇〇

丁 二二三〇

電 〇九五〇〇

補助 〇

共

符

● 阪 通
● 東 通・吳 通

機密第一七〇九二〇番電

發 吳需關門支部長

宛 阪需部長

通 緝 軍需局二課長 吳需三課長

大福丸(砂糖二)七〇〇袋(十六日高砂港ニ向ケ發)

通一〇八四五 天二〇々八(吳 通 遠藤(五 島))

昭和廿年四月拾八日

283

休

一七

受信一四三〇五

譯了一四五〇 電〇九五六五

作 概

昭和廿年四月拾八日

東通處理。橫通處理。吳通處理。佐通處理

呂 六 八



機密第一七〇九三五番電

發 對潛訓練隊司令

着信者 海上護衛司令長官 吳鎮長官

受報者 橫鎮參謀長 佐鎮參謀長 舞鎮參謀長 大海參一部長 軍

務局長 教育局長 海軍對潛學校長 橫須賀海軍砲術學校

長 海軍電測學校長 海軍機關學校長 一田參謀長 門

司武官 伏木武官

當除十七日舞鶴島七尾灣訓練基地ヲ移動ス。

通一〇八九八

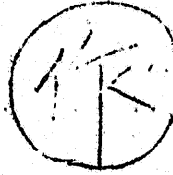
呂一日ケ七八 B 吳通

岩佐(録)

284

70

四 一八 受信一七三五 譯了一八〇〇 電一〇一四七 作動



● 一〇二戰隊▽・第三哨戒部隊▽(AS作戰)・一護衛艦隊▽
● 海上護衛總部隊各▽・一護衛艦隊戰情着信艦所・一〇三戰隊▽
● 第二哨戒部隊▽(AS作戰)・鎮督・佐鎮

機密第一八一・二〇〇番電

發 二〇五海防艦長

本艦左ニ依リ所安港ニ進出ス

四月十八日一〇〇〇門司發一八〇〇伊萬里假泊以上倉橋ト同行十九日〇五〇〇發針路二八七度ニテ巨文島ニ直航一八〇〇同地假泊二十日〇六〇〇發一一〇〇着

通一一五四九 天二Bケ八(一三五二〇K) 高瀬 楠本(小澤綾)

昭和四年四月拾九日

285

20

作

四
一一八 受信 〇〇二二五
一一九 開始 〇〇二二七
譯了 〇一一一〇 電自
至 〇〇三七七
作概 〇

緊急

共

符

昭和廿年四月拾九日

一〇二戰隊、第三哨戒部隊、第二哨戒部隊

海上護衛總口、一護衛艦隊、A、B三部隊、二驅潛隊、
一護衛艦隊敵情着信艦所(東海北部)、一〇三戰隊、五七海防艦

機密第一八〇五三〇番電 四分、一二三四

發 崎戸艦長

一、掃蕩ヲ打切り海五七岬岬泊 〇〇〇兄弟島 二一驅潛隊 行 十九

日一二〇〇酒礁山着ノ豫定

二掃蕩情況左ノ如シ

(一)十七日L哨區ニテ〇二三〇電探捕捉目標八軒感一益近接四軒ニテ

通 一一七二八

一一六六九〇三四

天二日ケ八

九七五〇五 KKK

佐

日 相 海 長 中 川

感三次デ三籽ニテ薄黑影ヲ認ム水測ニ捕捉味方識別ヲナスモ感

ニ直ニ發砲セシモ二籽ニテ感一次回水測ニ散亂性ノ反響音

ニ現狀ニ屬等異變發見セズ爾後水測ニ感ニシ十七日ニ哨區ニ

ニ二三〇〇東波探信儀一目標ハ九籽感ニ近接スルモ感度上ガテ

ス三籽ニシテ感一トナリ水測國外捕捉シ得ズ現場ニ至ルモ何

物ヲモ認メズ八月齡五日視界良好

十八日ニ哨區北方ニテ〇一〇〇東波探信儀一目標ハ二二籽感ニ

五籽ニテ感三・三籽ニテ感二・三籽ニテ感一・一・五籽ニテ

不明水測網線捕捉セザルモ現場ニ爆雷四ヲ投下一薄霧視界稍不

良

(二) 綜合狀況目標殆ド動カズ電探機能良好ニシテ兩艦共ニ同一目標
捕捉水測機能普通海面平穩ニシテ海面反射ナシ

(二)

286

20

至 四

急

一八 受信一三三九 譯始一四〇五 譯了一四二五 電一〇〇三五 作 動

共

符

傷

海護總各口・一護衛艦隊口・第二哨戒部隊
佐鎮・鎮警・AS三部隊・一一海防隊下

機密第一八〇六一三番電

發 三六號海防艦長

十七日二二三〇瓦文島着哨區ニ着ク。

通 一一四五四

天二Bケ八

B

佐世保

牛島

(渡)

邊)

昭和四年四月拾九日

287

20

四 一八 受信一七四〇 譯了一八〇〇 電一〇一〇七

昭和四年四月拾九日 疾病

上海根 聯合艦隊

機密第一八一五二九番電

濃霧ノ爲入港ヲ十九日ニ延滞ス一五〇〇ト松迄水先案内派遣サレ度。

一五八二 大「B」ケ「六」四九三〇 石川(宗)

288

20

四 一八 受信一九二〇 譯始一九二〇 譯了一九三〇 電一〇一九四 作動



一護衛艦隊 海護總口・二遣支艦隊口・驅潛二〇・九〇一空 舟山島航空基地・戊航空基地・龍華航空基地



共

符

機密第一八一二三五番電

發 二六海防艦長

二〇驅潛艇、共二十八日一六〇〇香港十九日〇八〇〇汕頭着、一七〇〇發接航北上二十日〇三〇〇廈門沖通過二十一日一九〇〇定海着、豫定。

通一一五九六

天二B々八(一三五二〇)C(高雄)

遠藤(高)符

昭和十四年四月拾九日

289

四 一八 受信一三三四
緊急 開始一三四五 譯丁一四三五 電一〇〇五
作動

停

水

戰

機密第一八一二〇五番電

行動豫定左ノ通り

四月二一日〇七三〇佐世保發一七三〇關門海峡通過二三〇〇(狀況ニ依リ二二日午前)八島然地着艦用重油理有量右回航ニ差支ナシ

通一四四六

呂一五々七

B

佐通

咲花(小澤滿)

昭和廿年四月拾九日

1063

102 Tu

290

70
74

四 一九

受信〇九一五
譯始一〇三五

譯了二〇五五

電一〇四五〇

作動

昭和廿年四月廿拾日

作

● 阪 警・佐 鎮
● 艦 政 本 部

● 一〇二輪送艦
● 横須賀工廠總務部

機密第一九〇六五三番電

一九日 〇六〇〇横須賀出撃、大阪ニテ電纜搭載ノ上佐世保ニ回航、二
二日 一五〇〇大阪着ノ豫定。

一九〇八部改
一〇三〇除務

道一一九七二 天二〇ケ八(一六一七)横 通 福山(波田野)

291

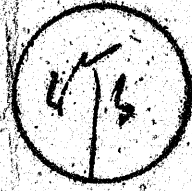
20



至 急

四一九 受 始 一九〇二 譯了 二〇四五 電 一〇七一 整 作

昭和十五年四月廿日



第十一水雷戦隊

艦政本部・聯合艦隊司令部・大阪警

機密第一九一六五三番電

發 梯 驅 逐 艦 長

一二號罐水壓試驗中換裝罐管(小)擴管部龜裂四箇所發見尙工事ニ
約十日ヲ要スル見込

三換裝罐管ハ二九耗管ヲ熱處理引伸使用シアリ。

通一二二一三 天二日ル八 (B) 阪警 未松 (小野田)

梯 様

梯

292

局長	四	七	九	勇	勇
副局長	長	九	八	信	信
長	長	始	一	九	八
		三	五	〇	〇
		〇	五	〇	〇
		〇	五	〇	〇
		〇	五	〇	〇
		〇	五	〇	〇
		〇	五	〇	〇
		〇	五	〇	〇
		〇	五	〇	〇

● 東 通

● 第十方面艦隊

九二五 電一〇六八四 災 作〇

機密第一九一七〇〇番電

宛 軍務局長 人事局長

第十方面艦隊機密第一八一九四四番電中第一項ヲ謄ミテ左ノ通訂正

一 知床御眞影ハ軍艦高雄ニ奉安シアリ。

通一二二〇七 呂一Aケ八(一七五九〇K)十通

3000 293

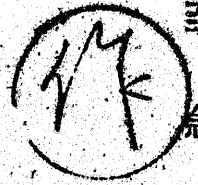
20

人

四一九 受信開始〇〇八一二 譯了〇九五七 電一〇四七一 作動

昭和廿年四月廿拾日

至急



佐世・四海上護衛隊

共

符

東通・佐防備隊・領海防備隊・領警・九五一空基地領海派遣隊

機密第一八一六二五番電

發 第三〇號海防艦長

通報 GEB 參謀長 佐世保工廠總務部長

一九日〇五〇〇領海發〇八〇〇對馬北端一二〇〇壹岐東側一八三〇佐世
保若ノ豫定 速力一四節

二一九三九

天二日ヶ八

B

佐世

勝連(高橋)

294

20人

四一九

受信二二三〇〇
開始二三三〇〇

譯了二三三五〇

電一〇九三六

作藩〇

昭和四年四月廿四日



AS三部隊

一護衛艦隊F・高 醫・基隆防備部隊

機密第一九一五〇八番電

第一〇二戰隊機密第一九〇八五〇番電返

任務行動ノ關係上今回ハ豫定ノトコロニ致度。

通一二四五六 於一六(四九一五)佐二放 日高(杉本)

890T

200 ed 295

20人

四二〇 受信二〇〇一 譯了二〇四五 電一二三三 一 整 備
譯始二〇一七

至 急

共

付

海軍大臣・佐藤

機密第二〇一〇三一 番電

發 第二〇〇 號海防艦

本艦長崎三菱造船所ニ於テ機裝中ノ所〇九一五竣工受領ス。

通一二七〇三 天二Bケ八 (B) 佐藤

同 (B) 川

